

お手入れ方法

素材別お手入れ方法



01 毛皮製品

クリーニングについて

毛皮は毛が傷んだり、皮の縮み・硬化などが起こるため、水洗いやドライクリーニングが出来ません。クリーニングの際は毛皮専門業者へご依頼ください。

日頃のお手入れについて

着用後は軽くたたいてほこりを払い風通しのよい所で日陰干ししてください。着用による毛並みの乱れは軽くブラッシングをして整えてください。毛皮にシワや折り目がついた場合は温かい蒸しタオルで毛並みにそって軽く拭き、ブラッシングした後風通しのよい場所で日陰干ししてください。

汚れてしまった場合は

ジュースなどをこぼしてしまった場合は、すぐに拭き取り濡らしたタオルをきつく絞って汚れを軽く叩き出してください。(皮まで水分が染み込まないようにご注意ください。)
虫害や変色などの恐れがあるため、早めに毛皮専門業者へご相談ください。

ご注意ください

水濡れ

雨や雪などで濡れてしまった場合は、タオルなどですぐに拭き取り日陰干ししてください。皮まで濡れてしまうと、縮みや硬化などの恐れがあります。濡れてしまった場合はすぐに拭き取り日陰干しして、早めに専門業者へご相談ください。(ドライヤーやアイロンなどの熱では絶対に乾かさなでください。)

摩擦

摩擦によって毛が折れたり切れたりする場合があります。ショルダーバッグなどとの擦れや、自動車の運転など長時間擦れる状態での着用にはご注意ください。

直射日光や蛍光灯の光

光に弱いので、直射日光や蛍光灯の光に長時間さらされると変色の恐れがあります。

香水・整髪料

香水や整髪料の付着は、毛皮を傷めたり変色の原因になります。また、臭いを吸着しやすいため直接かからないようご注意ください。

火気厳禁

熱に非常に弱いため、ストーブやタバコなどの火にご注意ください。

色落ち

濃色品は着用中の摩擦や、汗・水などで濡れたことにより他のものへ色移りする場合があります。淡色品との組み合わせにご注意ください。

オフシーズンの保管について

毛皮は折り曲げず、押しつぶされないようにゆったり間隔をあけて収納してください。通気性のあるカバーを使用し湿気のない暗所に保管します。防虫剤の併用は避け、また除湿剤の接触にご注意ください。ストールや帽子などの小物は箱に入れて保管します。ご自宅で毛皮に最適な温度や湿度、スペースの確保が難しい場合は、専門業者に保管を依頼しましょう。

02 皮革製品

■ クリーニングについて

基本的には特殊クリーニング扱いになります。取り扱い絵表示をご確認いただき、水洗いもドライクリーニングも × 表記になっている場合は、皮革専門業者へご依頼ください。(受付は一般のクリーニング店でも行なっている場合があります。)

■ ウォッシュャブルレザーのお洗濯について

色落ちを抑えるために、中性洗剤を使用し30℃以下(常温)の水で洗ってください。(各種漂白剤の使用はお避けください。)また、浸け置きはせず、日陰干ししてください。縮みの原因になるため、タンブラー乾燥や、皮革部分へのアイロン掛け、スチームはお避けください。

■ 日頃のお手入れについて

素材に合ったクリーナーやクリームを使用してください。(目立たないところでシミにならないか確認してください。)起毛素材はほこりや汚れが付きやすいため、こまめにブラッシングしてください。仕上げに防水スプレーをかけていただくと、汚れも付きにくくなります。カビ発生の原因になりますので、雨などに濡れた場合は必ず日陰干ししてから暗所に保管してください。

■ 汚れてしまった場合は

食べこぼしなどで汚してしまった場合は、すぐに拭き取り濡らしたタオルをきつく絞って汚れを軽く叩き出してください。(ベンジンやシンナーは使用しないでください。)そのまま放置すると変色などの原因になり、時間が経てば経つほど落ちにくくなりますので早めに専門業者へご相談ください。

■ ご注意ください

■ 水濡れ

雨や雪などで濡れてしまった場合は、タオルなどですぐに拭き取り日陰干ししてください。(ドライヤーやアイロンなどの熱では絶対に乾かさなでください。)乾かした後、濡れた部分が硬くなった場合は揉みほぐしてください。(濡れた状態では揉まないでください。)シミになってしまった場合は、早めに専門業者へご相談ください。

■ 色落ち

濃色品は着用中の摩擦や、汗・水などで濡れたことにより他のものへ色移りする場合があります。淡色品との組み合わせにご注意ください。

■ オフシーズンの保管について

汚れが付着したままの保管はカビや変色の原因になります。クリーナーなどでお手入れをするか、クリーニングに出してから保管してください。折り曲げず、押しつぶされないようにゆったり間隔をあけて収納してください。通気性のあるカバーを使用し湿気のない暗所に保管します。防虫剤の併用は避け、また除湿剤の接触にご注意ください。時々風通しをするとカビ防止になります。

03 合成皮革製品

■ クリーニングについて

加工の種類(ポリウレタン樹脂コーティング・ポリ塩化ビニル樹脂コーティング)によって取り扱い方法が異なります。縮みや硬化などの恐れがあるため、取り扱い絵表示を必ずご確認ください。

■ 日頃のお手入れについて

汗や皮脂、汚れなどが付着したまま放置していると劣化を早めます。銀面の場合は、水で濡らし固く絞ったタオルなどで軽く拭いて日陰干ししてください。しつこい汚れの場合は、中性洗剤を薄めて使用してください。起毛素材の場合は、ほこりや汚れを吸着しやすいためこまめにブラッシングしてください。

汚れは消しゴムで落とし、硬めのブラシで表面を整えてください。

高温多湿の場所は、コーティング樹脂の劣化を早めます。風通しのよい暗所に保管してください。

■ 汚れてしまった場合は

食べこぼしなどで汚ってしまった場合は、すぐに拭き取り水で濡らし固く絞ったタオルなどで汚れを軽く叩き出してください。(ベンジンやシンナーは使用しないでください。)

そのまま放置すると変色やコーティング剥離などの原因になります。

時間が経てば経つほど落ちにくくなりますので、早めにクリーニング業者へご相談ください。

■ ご注意ください

コーティングの劣化

合成皮革は天然皮革に比べてお手入れしやすく、比較のお取り扱いが簡単な素材です。

しかし特性上、樹脂の加水分解や着用中の摩耗、汗や皮脂、汚れなどの吸着による経時劣化が避けられません。

コーティング樹脂の種類や、着用・保管状況などにより異なりますが、耐用年数は製造から2~3年が目安になります。

摩擦

光沢の低下、キズ、コーティング剥離などの原因になるため、着用の際はバッグやベルトなど硬いものとのスレにご注意ください。

■ オフシーズンの保管について

汗や汚れが付着したままの保管はひび割れや破れなど劣化の原因になります。

クリーニングに出してから保管してください。

ドライクリーニングの溶剤が残留しやすいため、クリーニング後は必ず袋から取り出し日陰干しを行なってください。溶剤が残った状態で着用すると、皮膚障害を引き起こす恐れがあります。

04 麻製品

■ 特徴

吸湿性・発散性に優れており、繊維が硬く清涼感があるため春夏物衣料に適しています。

強度があり、湿潤状態でさらに強くなります。

ハリ・コシはありますが、伸度と弾性に乏しいため、シワになりやすく取れにくいです。

麻特有のハリ感を出すために強く撚りをかけているため、水洗いで縮みやすいです。

(加工によって防縮性を持たせたものもあります。)

摩擦で毛羽立ちやすく、特に濃色は白化が目立ちやすいです。

■ クリーニングについて

生地や製品の加工状況によって、水洗いをするとう縮みや型崩れが起こる場合があります。

必ず取り扱い絵表示通りお洗濯してください。

シワが出来てしまった場合はスチームを当てると取りやすいです。(取り扱い絵表示・アテンション表示を確認してから行なってください。)

■ 汚れてしまった場合は

すぐに拭き取り水で濡らし固く絞ったタオルなどで汚れを軽く叩き出してください。

汚れた部分を擦ったりつまんだりすると、繊維が毛羽立ち白化する場合がありますのでご注意ください。

時間が経った汚れは落としにくくなります。早めにお手入れしてください。

■ ご注意ください

白化

摩擦によって毛羽立った繊維が白っぽく見える現象です。特に濃色が目立つため、着用中のバッグやベルトなどとのスレにご注意ください。

色落ち

濃色は色落ちしやすいため、着用中の摩擦や汗などで濡れた際の色移りにご注意ください。

取り扱い絵表示で水洗可の製品は単独洗してください。

05 獣毛製品

カシミア

特徴

カシミア山羊から採れた毛で、主な産出国は中国、モンゴル、イランです。

産毛を使用しているため、繊維が極めて細く柔らかいのが特徴です。

産出国によって繊維の太さや長さが異なり、色によってもランクがあるため製品に価格差があります。

長 所		短 所
風合いが柔らかい	軽い	ソフトな風合いを出すため糸の撚りが甘く、毛玉が出来やすい
保温性、吸湿性がある	手触りが滑らかで光沢がある	耐摩耗性に劣る

クリーニングについて

デリケートな素材であり、水洗いをすると縮みや型崩れが起こる場合があります。必ず取り扱い絵表示通り洗濯してください。取り扱い絵表示が水洗い可の製品は、中性洗剤を用いてやさしく押し洗いをしてください。脱水はネットに入れて洗濯機で短時間(1分弱)処理するか、軽く押し水切りをした後タオルで水分を取り、形を整えて日陰に干してください。(ニット製品は平干し)

アンゴラ

特徴

アンゴラ兎から採れた毛で、主な産出国は中国、フランス、チリなどです。(中国が世界の90～95%を占める)毛が抜け変わる時期に合わせて年4回刈り取ります。繊維はカシミアより細く、長く、柔らかいです。

長 所		短 所
毛の内部が空洞になっているため、軽くて暖かい	保温性、吸湿性がある	クrimp(縮れ)がなく、スケール(うろこ)も少ないため滑りやすく毛が抜けやすい
光沢があり、特にパステルカラーが美しい	風合いが柔らかい	静電が起こりやすく、ほこりを吸着するため色が徐々にくすんでくる

クリーニングについて

アンゴラ製品は、水洗いやドライクリーニングで収縮、風合い変化の起こりやすい素材です。

必ず取り扱い絵表示通り洗濯してください。取り扱い絵表示が水洗い可の製品は、中性洗剤を用いてやさしく押し洗いをしてください。脱水はネットに入れて洗濯機で短時間(1分弱)処理するか、軽く押し水切りをした後タオルで水分を取り、形を整えて日陰に干してください。(ニット製品は平干し)

ご注意ください

毛抜け・擦り切れ

毛が抜けたり擦り切れやすいデリケートな素材です。他の衣料品と配色使いにすると、毛羽付着が目立ちます。同系色でコーディネートしてください。

特徴

アンゴラ山羊から採れた毛で、主な産出国は南アフリカ、北アメリカ、トルコです。(南アフリカが世界の60%を占める)南アフリカ、北アメリカは年2回、トルコは年1回毛を刈り取ります。

キッドモヘヤとアダルトモヘヤがあり、産地と繊維によって分類されます。アダルトモヘヤはウールに比べてかなり繊維が太いです。

長所	短所	
滑らかで光沢がある	摩耗、折り曲げに弱い (繊維の外層が硬く、内層が柔らかいため)	
吸湿性が優れている	引裂強さに弱い	湿潤時、シワになりやすい

ご注意ください

摩耗

摩耗、折り曲げ、引裂き強さが弱いため、折目加工(シロセット加工)が施されているスラックスなどの場合、着用中に折目部分が擦れて折り曲げられた繊維が切れやすくなります。椅子などとの擦れにご注意ください。折り曲げに弱いため、高温で強くアイロンを掛けると繊維が切れやすくなります。

アルパカ

特徴

主な産出国はペルー、ボリビアです。

成長過程でベビー、スーリー、ファイン、スタンダード、コースに分けられます。繊維はウールよりも太いです。

長所	短所
毛の色が豊富	クリンプ(縮れ)がないため毛が抜けやすい
弾力性があり、シワになりにくい	
滑らかで光沢がある	
毛先が丸く肌への刺激が少ない	

ご注意ください

毛抜け

毛が抜けやすいため、スレにご注意ください。他の衣料品と配色使いにすると、毛羽付着が目立ちます。同系色でコーディネートしてください。

獣毛製品全般

日頃のお手入れについて

着用後は、柔らかいブラシでやさしくブラッシングしてください。毛並みを整えると毛玉が出来にくくなります。出来てしまった毛玉は、引っ張らず小バサミでカットするか毛玉取り器をご使用ください。デリケートな素材のため、連日の着用や運動など激しい動きをする時の着用はお避けください。

汚れてしまった場合は

すぐに拭き取り水で濡らし固く絞ったタオルなどで汚れを軽く叩き出してください。(擦らないでください。)時間が経つと汚れが落ちにくくなり、また、虫食いの原因にもなるため早めにお手入れしてください。

オフシーズンの保管について

汚れが付着したまま保管すると、虫食いやカビが生える原因になります。

保管する前に必ず洗濯(クリーニング)し、防虫剤を使用して風通しのよい暗所に保管してください。

事象別お手入れ方法

ウォータースポット(水ジミ)

ウォータースポットの種類

1 膨潤収縮

水や雨に濡れた際、糸が膨らみ乾いてからも元に戻らない現象で、これにより濡れた部分だけ光の反射角度が変わって変色したように見えます。(シルクやレーヨンなど)

2 染料や加工剤の移動

染料や仕上げ加工剤が水滴によって移動し、輪ジミになる現象です。(特にポリエステル)

3 起毛製品の毛倒れ

起毛製品は、濡れた部分だけ毛羽の倒れる方向が変わるため変色したように見えます。

発生しやすいもの

中濃色で艶のある無地染め(シルク、レーヨン、キュプラ、新合繊、指定外繊維(リヨセル)など)
中濃色で艶のある起毛製品、艶出し加工品(カシミヤ、カシミヤ仕上げ、ピーチスキンなど)
ポリエステルの減量加工品
シルク・レーヨンの強撚薄地製品

ご注意ください

ウォータースポットは、水洗いや(場合によっては)スチームで修正できますが、ドライクリーニングでは取れません。素材や仕様によっては水洗いやスチームを当てることが出来ない場合があります。雨の日の着用をお避けいただくなど注意が必要です。

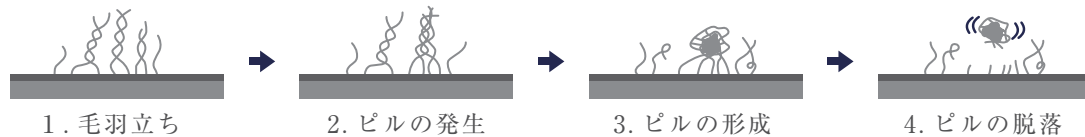
毛玉(ピリング)

発生のメカニズム

1 摩擦によって生地表面の繊維が毛羽立ちます。

2~3 毛羽立った繊維が絡まり合い毛玉(ピル)が発生します。

4 更なる摩擦で毛玉は脱落します*。この工程を繰り返します。
*繊維の強さが大きい合成繊維やその混紡品は、毛玉の脱落が起こりにくいです。



発生しやすいもの

編物(織物に比べて構造が粗く、糸の撚りも甘いため)
獣毛製品(繊維が細く、また柔らかい風合いを出すため糸が甘撚りのため)
極細合成繊維(糸が細いため摩擦で切れて毛羽立ちやすいため)

お手入れ方法

毛羽立った繊維が絡まるのを防ぐためには、着用後のブラッシングが効果的です。(強くブラッシングを行なうと、生地を傷めるのでご注意ください。)
ブラッシングでも取り除けない毛玉は、生地を傷つけないよう小バサミでカットするか毛玉取り器で処理してください。